

腹部のペースメーカーの電池交換を予定されている患者様、ご家族様へ



手術後の生活

痛みや傷の状態が落ち着いていればこれまでと同様日常生活を送る事が出来ます。

仕事復帰：退院翌日から可能

通学、通園：退院翌日から可能



手術後の注意点

・手術後は傷の周囲に血の塊（血腫）が出来る可能性があるため、退院後1か月は腹部を激しく動かす動き（ひねる、腹筋を使う）は控えめにしましょう。

・軽度な運動の部活動や習い事、遊びに関しては痛みが落ち着いていれば退院後から可能です。腹部を激しく動かすような動きのある遊びや部活動、習い事の再開は退院後1か月は避けて、再開は担当医と相談しましょう。

例：野球、テニス、ダンス、体操、フラフープなど

・傷の感染予防のため、プールは退院後1か月は避けましょう。

再開の可否は担当医にご相談ください。



植込み部や電波電磁波の注意点

腹部植込みの方は、電波電磁波の影響、ペースメーカー本体への負担、リードへの負担軽減のためパンフレットに記載されている内容の他に以下の点に特に注意しましょう。

電波電磁波の注意

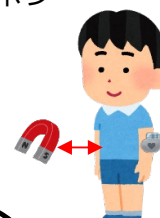
・磁石が内蔵されている機器（タブレット機器・switch2・ワイヤレスイヤホン・スピーカーなど）、磁石を使用したおもちゃなどは植込み部からこぶし一つ分程度離して使用しましょう。

学校で使用する磁石もこぶし一つ分程度離せば使用できます。

タブレット機器は動画閲覧時、持ち運び時など植込み部に近づけ過ぎないように気を付けて使用しましょう。

・携帯電話は植込み部から15cm程度離して使用しましょう。

携帯電話で動画閲覧等される際は植込み部に近づけ過ぎないように気を付けましょう。



授業での使用
時や持ち運び
時に注意



植込み部、リードへの注意

- ・鉄棒の前回り、逆上がりなど植込み部に直接当たる運動は避けましょう。（鉄棒にぶらさがったりするのは問題ありません）
- ・植込み部に直接当たる可能性のある球技（ドッジボール、サッカーなど）などは、学校の先生と相談の上配慮しながら実施しましょう。



- ・マット運動をする際はブリッジなどの腹部を極端に反るような動きは避けましょう。（前転、後転などは問題ありません）



中学生、高校生以上の患者様・ご家族様へ

ペースメーカー植込みに際し職業や作業内容により制限が生じる可能性があります。進路選択時や就業前、就業後で作業内容に不安がある場合は、担当医や産業医とご相談ください。

検討の必要性、就業に制限の可能性がある職種

強い電磁波を伴う機器を取り扱う職種（モーター、エンジン、溶接機器など）、整備士、潜水土、職業運転士、激しい接触のあるプロスポーツ選手など

小学生以上の患者様へはこの機会にご本人へペースメーカーについてやペースメーカーの注意点についてお話し、ご自身で管理出来るよう支援していきましょう。患者様へのお話の仕方など、お困りの際は入院中にご相談ください。

